

保護者様

丹波篠山市立城南小学校

校長 小林 義則

1 学期実施「いじめアンケート」の結果について

残暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育に格段のご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて本校では、「いじめを許さない学校」をめざして取り組みを進めております。いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けて、保護者の皆さまにも多大なご協力をいただいているところです。

6月に「いじめアンケート」を実施し、子どもたちが安心して学校生活を送れているか調べ、対応しましたので、その結果についてお知らせします。

【児童に実施したアンケート結果より】

1. いじめの実態調査	低学年 (1～3年)	高学年 (4～6年)
いじめられたことがある	19.0%	10.9%
人をいじめたことがある	6.3%	4.1%

2. 「いじめられたことがある」「今もいじめられている」と答えた児童の主な内容と件数（複数回答可）

冷やかす・からかい・悪口・嫌なことを言われる	7	4
ぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりしている	4	3
仲間はずれ・集団による無視をされている	4	3

3. いじめられた時に相談する相手（複数回答可）

	低学年	高学年
1 担任	80%	79%
2 担任以外の先生	43%	40%
3 養護教諭	10%	11%
4 保護者や家族	66%	66%
5 友達	56%	68%
6 誰にも相談しない	1%	7%

4. いじめられている人を見た時の行動（複数回答可）

	低学年	高学年
1 注意する	75%	68%
2 励ます	66%	68%
3 先生に伝える	68%	78%
4 保護者や家族に伝える	33%	33%
5 友達に相談する	40%	68%
6 何もしない	2%	3%

【結果に基づく考察と対応】

「いじめられたことがある」と回答した児童について、その日のうちに担任を中心に、関係する児童に話を詳しく聞き、事実確認をおこないました。

低学年では、いやなことを言われたという事案が多くを占めました。注意の仕方がきつかったり、乱暴な言い方をする児童も見られますので、相手を思いやった声のかけ方や話の仕方などを道徳の授業や日々の生活で指導していきます。

高学年では、友だちのことを好きか嫌いかなというような話題から、「好きな人？嫌いな人？」などと挙手を求めるような事案がありました。もし自分がされていたらどう思うか考えさせ、周りの児童にも、聞かれるままに答えるのではなく、その質問がよくないということを言えるのが、いじめを防ぐ行動であると指導しました。

いずれの件でも、加害側になってしまった児童が、被害を訴えている児童の悲しかった気持ちを知り、もうしないと心から反省して謝れるよう、指導していきました。

「いじめられた時に誰に相談しますか」では「誰にも相談しない」と答えた児童が数名いることが分かりました。児童が困ったことがあったときのサインを見逃さないように、子どもの変化を素早く察知して声かけを行うなど、注意して見守りを行うと同時に、相談しやすい体制を整えていきます。

今後とも、学校と家庭との連携を密にし、アンケートや学級での様子を観察し児童理解をすすめる、困ったことや悩みが打ち明けられるような場を作っていけるようにしていきたいと考えています。

ご家庭でも、お子様から悩みごとの相談があったり、いつもと表情が違うなどの変化がみられたりするなど心配に感じられることがありましたら、いつでも学校にご相談ください。家庭・学校・地域が連携し子どもたちが安心して過ごせる学校にしていくため、今後ともご協力ご支援の程よろしくお願いいたします。